

武石まちづくり計画

～ 恵まれた自然と人の営みを大切にして、一人ひとりが輝く武石をめざして ～



2019年4月

住みよい武石をつくる会

目次

はじめに

第1部 基本計画 . . . 1～6 P

第1章 計画の目的と背景 . . . 1～4 P

1 計画の目的

2 地域の状況

(1) 沿革

(2) 位置・地勢・気候

(3) 人口と高齢化率の推移

3 地域の現状と課題

第2章 まちづくりの理念 . . . 5～6 P

1 まちづくりの理念（キャッチフレーズ）

2 目標と将来像

3 計画の実現に向けて

第2部 分野別計画 . . . 7～13 P

第1章 人々が明るく支えあう安全・安心な地域づくり . . . 7～9 P

1 地域コミュニティの醸成と地域内外への情報発信

2 安全・安心な地域づくり

3 健康寿命延伸に向けて

4 子育て環境の充実

5 伝統文化・歴史の継承と新たな文化の発展

第2章 地域資源を生かした地域づくり . . . 10～11 P

1 住民交流と移住促進

2 農地や自然環境の保全

3 活力ある農林業の推進と商工業の振興

4 農村観光の創出

第3章 計画の実現に向けて . . . 12～13 P

1 事業期間

2 事業推進体制

資料編 . . . 14～16 P

はじめに

武石地域の自然の魅力や伝統文化を活かし、現在直面する様々な問題の解決に取り組み、いつまでも豊かで充実した暮らしができる地域を創ることをめざして、まちづくり計画を策定しました。

第1部 基本計画

第1章 計画の目的と背景

1 計画の目的

平成18年3月6日、武石村は、上田市、丸子町、真田町と合併し、「日本のまん中 人がまん中 生活快適都市 ～水跳ね 緑かがやき 空 ころ 晴れわたるまち～」をキャッチフレーズに誕生した新生上田市の武石地域として新たな歩みを始めました。

平成の大合併といわれるこの合併は、経済成長が鈍化し、国や地方の財政が悪化する中で、行財政基盤の安定化を図ることを目的に進められました。

その結果、地方分権が進展し、各市町村は今まで以上に、自己決定能力や責任が求められるようになりました。

しかし、合併による市の面積拡大や職員の減少により、地域へのきめ細かな行政サービスの維持が困難になる状況も見受けられるようになりました。

市内の各地域も多様化する地域課題に対しては、そこに住む自分たち自身が自ら考え、行動し、ときとして自ら負担することで、行政にすべて頼るのではなく、自分たちにできることは自分たちで汗を流して解決していくことが求められています。

そのため、今後の地域づくりは、私たち自らが様々な視点で地域を見つめ直し、地域の皆さんの声を反映しながら、地域課題解決のための具体的な事業を計画し実行していく必要があります。

今回作成するまちづくり計画は、平成29年3月に発足し走り出した住民自治組織「住みよい武石をつくる会」の道しるべとなるものです。

具体的な地域づくりについて事業計画に盛り込み、地域住民の一層の福祉の向上を図りながら、いつまでも住み続けたい「武石」をめざして計画を策定します。



- 武石まちづくり計画
 - 基本計画 (まちづくりの理念、目標と将来像)
 - 分野別計画 (分野ごとの施策・事業など)

- 毎年の事業計画及び予算 —— それぞれの事業や活動を具体化

2 地域の状況

(1) 沿革

武石地域は地勢的にまとまりのある一つの地域をなしていますが、江戸時代には上田藩領の飛び地として、当初は、下武石村・上武石村の2村で、後には、沖村、鳥屋村、下武石村、上武石村、下本入村、上本入村、小沢根村、余里村の8カ村に分かれて生活が営まれていました。

明治22年4月の市町村制施行により8カ村が合併して武石村となり、以来100有余年後の平成18年3月、旧上田市、旧丸子町、旧真田町と合併し、上田市武石地域となりました。

(2) 位置・地勢・気候



武石地域は、上田市の南に位置し、（武石地域自治センター位置：東経138度14分、北緯36度16分、標高639m）面積87km²、人口3,452人、1,421世帯（平成31年1月1日現在、上田市住民基本台帳調べ）、武石川谷底平地に展開する中山間地です。

市の中心部からは、車で約30分の距離にあり、地域の東端を国道152号線が上田及び諏訪方面に通じ、この国道から分岐する県道62号線（美ヶ原公園沖線）が地域の動脈として東西に走り、中心部北縁をバイパスとして抜け、武石峠（1,809m）を経て松本市に通じています。さらにこの県道は、上本入地籍で分岐し県道464号線として美ヶ原高原美術館を経てビーナスラインに接続しています。

西方に地域で最も標高の高い2,034m、日本百名山の一つ美ヶ原高原を擁し、この高原台地を

源とする武石川の清流が、南からいくつかの支流を合わせながら、東に流下して東端で千曲川の支流依田川に合流しています。

この地域の谷底平地の標高580m～1,000mにかけて、耕地や集落が展開していますが、耕地、人口ともに下流域が密となっています。

地域の南は長和町、西は松本市、北と東は上田市丸子地域と山稜をもって接しています。

気候は、昼夜・夏冬の寒暖の差が大きい典型的な内陸性の気候で、年間の平均気温は約10度、平均降水量は約900～1,000mmと晴天率が高い少雨地帯です。積雪は、南岸低気圧通過時には、稀に30cmを超える大雪（上雪）を見ることもありますが、概して少なめです。冬は、1月に入ると、氷点下10度を下回る日もありますが、夏は日中30度を超える真夏日も続きますが、湿度は低く、朝夕の気温は下がり、日較差が大きい涼しく過ごしやすい気候です。

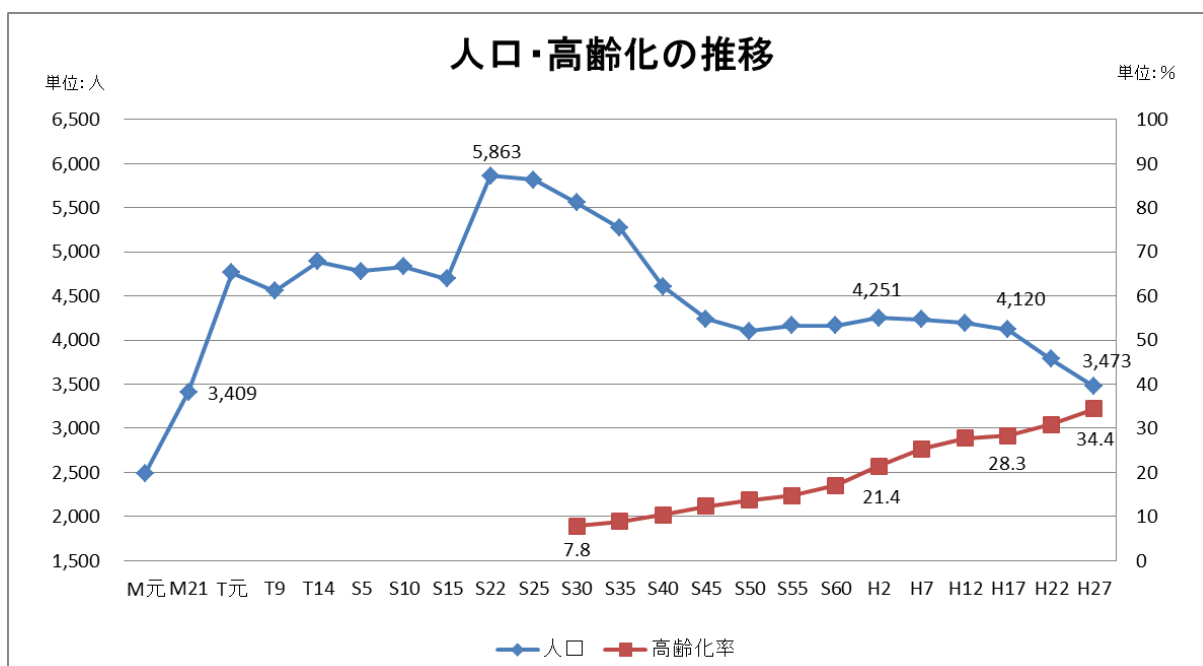


(3) 人口と高齢化率の推移



人口は、平成31年現在、合併した平成18年に比べ、15%以上減少しています。高齢化率は、この間7%上昇し、35%に達しています。近年、高齢化の上昇スピードが早まっています。

市内では最も人口減少と少子高齢化が進んでいる地域です。



(出典：人口調査・国勢調査)

3 地域の現状と課題

武石地域は、戦後のベビーブームの頃をピークとして、その後ほぼ一貫して人口減少が続いています。近年はさらに、少子化・高齢化が進み、これに伴い地域の維持に必要な人的資源も減少し、農林、商工・観光等の産業の停滞と衰退、小中学校等児童生徒の減少、消防団を始めとする地域自治活動・集落維持活動の困難化など、生活環境、自然環境に次のような問題が生じてきています。



ア 人間関係の希薄化や、地域社会のコミュニティ意識の衰退などにより、自治会や公民館活動が不活発になってきており、お祭り等、伝統行事への参加者も減少しています。



イ 価値観の多様化、プライバシー意識の高まりなどにより、隣近所とのつきあいによる身近な情報交換が少なくなっています。

ウ 異常気象による自然災害が全国各地で頻発し災害に襲われる可能性が非常に大きくなっており、地域での新たな支え合い・助け合いの仕組みづくりに取り組んでいく必要があります。

エ 独居高齢者、高齢二人世帯、要介護者、老々介護が増加するなど家庭介護力が減退しつつあり、高齢者が健康で生きがいを持って暮らすことができる環境づくりが求められています。

オ 核家族化、就労の多様化などにより、子どもを産み育てる環境が大きく変化しています。

カ 近所に同世代の子どもがいなくなり、またゲーム機の普及、SNS 等インターネット環境の進展、塾通い等、子ども同士の関わりが変化し多様化しています。

キ 利用者の減少により地域公共交通システムが脆弱化し、高齢者や児童生徒など交通弱者の通院・通学・買い物等が不便になっています。

ク 大規模店やコンビニエンスストアの進出による流通や生活様式の変化、さらに地域全体の購買力の減退により地域の個人経営小売店が衰退しています。



ケ 農地や河川の管理が十分に行われず、草木の繁茂などによる農業生産基盤の維持の不安や農村の風景の魅力が損なわれることが危惧されます。

コ 農業就業者が急速に減少・高齢化し、農業担い手への農地の集積・集約化は進んでいます。十分に農地を管理できない箇所もあります。

サ 松くい虫被害の拡大や林業の不振などにより地域の森林資源の損失が進行しています。



シ 家主の転出や死亡により適切に管理できていない空き家が増加してきており、防災、防犯、景観などが心配されます。

ス 当地域の観光資源の特性から通過型の観光客が多く、現在の農村観光に求められる農業体験や農家民泊などが十分に提供できていません。

第2章 まちづくりの理念

「地域の現状と課題」を踏まえ、まちづくりの理念、目標と将来像を次のとおり定め、実現をめざしてまちづくりを進めます。

1 まちづくりの理念（キャッチフレーズ）

私たちは、武石地域で進めるまちづくりについて様々な議論を重ね、次のキャッチフレーズを設定し、まちづくりを進めていくこととしました。

～ 恵まれた自然と人の営みを大切にして、一人ひとりが輝く武石をめざして ～



このキャッチフレーズには、「武石地域の美しい自然と長年培ってきた人々の英知を活かして、人々がいきいきと輝いて暮らすことができる武石をみんなでつくっていきましょう」という、私たち一人ひとりの思いが込められています。

2 目標と将来像

私たちは、武石地域のまちづくりを進めるにあたって次の二つのテーマを設定し、テーマごとに次の目標と将来像を設定しました。

I 人々が明るく支えあう安全・安心な地域づくり



住民の支え合い・助け合いは、決して強制されるものではなく、住民一人ひとりの心が源となって広がっていくべきものです。めざす方向性は共有しながらも、一人ひとりが自らの目線で地域社会の一員として自覚し、ともに助け合い連携した活動を行い、楽しく、いきいきと、生きがいを持って安全・安心に暮し住み続けるまちをつくり上げていきます。さらに、地域で子どもたちを育み、安心して子育てのできる環境を創出するとともに、世代間交流を通じて、地域に誇りが持てるようにしていきます。

II 地域資源を生かした地域づくり



貴重な魅力ある地域資源を、住んでいる私たちが再認識し守り育みながら、次世代へ引き継いでいくことが求められています。そのために、域内の経済循環、域内の雇用創出、新たな生活環境や教育・福祉を生み出す、いわば、地域と住民の生活を守る経済活動を推進していきます。

3 計画の実現に向けて

このまちづくり計画は、多くの地域住民の参画を得て、意見を出し合う中で、住民が担うべき方向として集約し策定しました。計画の実現に向けて、自分たちが確実に行動していくことによってよりきめの細かいまちづくりを進め、一人ひとりが輝く武石を次世代へと引き継いでいきます。

このまちづくり計画の実現に向け、テーマ毎に項目を設定し事業を計画し推進していきます。

第2部 分野別計画

分野別のテーマ毎に、地域課題克服に向けた施策・事業を推進していきます。

第1章 人々が明るく支えあう安全・安心な地域づくり

1 地域コミュニティの醸成と地域内外へ情報の発信

地域コミュニティを醸成し、地域の活性化を図るため、地域の様々な情報を各世代が共有できる環境をつくるとともに、地域内外へ情報を発信していきます。



施策・事業

- 自治会、公民館、消防団活動等の推進と若者参加
自治会加入への働きかけや公民館活動の推進、消防団員の確保など地域自治活動の推進を図り、世代を超えた交流等自治会活動を活発化し、地域課題の解決、地域活性化につなげる取組を行います。
- 地域情報の共有と発信
 - ・ 広報紙の発行
住みよい武石をつくる会の広報紙を定期的に発行し、会の活動、イベント等地域情報の発信・紹介を行い、地域コミュニティの向上を図ります。
 - ・ エリアトーク通信
エリアトーク（定時放送、臨時放送、緊急放送、防災・災害情報等）により地域コミュニティを豊かにし、安全・安心な地域づくりに寄与します。
 - ・ ホームページ
地域内外に住みよい武石をつくる会の紹介、地域イベント情報、観光情報、地域の文化・歴史等の情報発信を行います。
- アンケート
住みよい武石づくりのため、必要に応じ地域の課題、住民の意識の収集分析を行います。

2 安全・安心な地域づくり

地域の医療や福祉などの関係機関や団体と連携を図りながら、若者が定住し子どもから高齢者まで心豊かに安心して暮らせる活動を支援し、環境づくりに取り組みます。



施策・事業

- 災害危険個所の調査、防災意識の共有・訓練
防災マップ・防災絵本などを活用した防災意識の高揚、啓発活動の推進、防災訓練の継続的推進を、行政、自治会、消防団等と連携を図りながら実施します。
- 空き家対策
防災・景観・防犯上問題な空き家への目配りと、利用希望者の斡旋など空き家活用の調査研究を行います。
- 交通弱者対策
デマンド交通の充実など、交通弱者の交通手段の確保・利便性の向上のため調査研究を行います。
- 買い物弱者対策
移動販売車、通販利用など買い物弱者の生活支援のための施策を調査研究します。
- 地産地消の推進と賑わいの創出
軽トラ市、農産物直売等により地産地消を推進するとともに、買い物支援、地域の賑わいの創出に努めます。
- 地域支えあい
要介護者やその家族、子どもやお年寄りなど社会的弱者を地域全体で支える仕組みをつくっていきます。

3 健康寿命延伸に向けて

公民館やスポーツ団体と連携を図りながら、スポーツ振興、健康、体力づくり活動を通じて、すべての世代の健康増進をめざします。



施策・事業

- 健康増進
ウォーキング、ヨガ、ストレッチや健康体操など、手軽に健康増進を行える環境をつくり、健康づくり活動を推進します。
- スポーツ振興
スポーツ協会等との連携を図り、地域に根付いた既存の取り組みへの活動支援を積極的に行います。

4 子育て環境の充実

少子化が進む中、教育委員会や公民館、子育て支援団体等と連携しながら、「子どもは地域の宝」をモットーに、恵まれた自然環境の中で、地域全体で子どもを守り育てるとともに、子育て環境の充実を図ります。



施策・事業

- 子ども体験活動の支援
通学合宿などの子ども体験活動の運営に積極的に関わっていきます。
- 子どもと大人がともに育つ活動の実践
子育て環境等について地域全体で考え、武石で暮らし続けられるビジョンの創出などの検討を子どもと地域の大人との交流を通じて、地域ぐるみで育てていく事業を展開していきます。
- 子育て支援
世代間交流を促進し、親子の体験活動を行いつつ子育て情報を積極的に発信します。

5 伝統文化・歴史の継承と新たな文化の発展

文化団体や活動団体を支援協力し地域の内外に文化を発信するとともに、子どもたちに武石の歴史を伝承し、地域を愛し自ら学び学習する環境を整えます。



施策・事業

- 伝統文化の継承
地域の祭りや行事の調査、伝統文化の継承等の活動により、ふるさとに誇りを持つ意識づくりを進めます。
- 地域の文化財学習
ふるさとカルタや史誌類を利用するなどして、歴史や文化に学び、郷土愛を育む活動を実践します。
- 住民の学習と文化享受の支援と協力
文化団体や活動団体の活動を支援し協力します。

第2章 地域資源を生かした地域づくり

1 住民交流と移住促進

美しい自然景観や、基幹産業である農業、祭りなどを活かし、地域の活性化を図るとともに、地域内外の住民との交流を深め、Uターン・Iターンに繋がる活動への発展をめざします。

施策・事業

- 地域外住民との交流
地域外住民との交流を積極的に行い、地域情報を発信していきます。
- Uターン・Iターンの推進
Uターン・Iターン者を呼び込むための調査研究やイベントの開催を関係団体と連携し実施していきます。



2 農地や自然環境の保全

みどり豊かな山並み、透き通る清流、心休まる田園風景が織りなす空間を次の世代にも引き継いでいくために、農地や自然環境の保全に努めます。

施策・事業

- 道路環境整備
道路わきの立木の枝払い・草刈りを行い、景観保全と交通事故防止及び地域住民の連帯意識の醸成を図ります。
- 松林の保全
松くい虫被害対策に積極的に関わり、森林の荒廃予防、マツタケ生産の向上、景観保護に取り組みます。
- 河川環境整備
河川敷に繁茂するニセアカシア・アレチウリ等の除去活動を行い、景観保全と河川災害の防止を図ります。



3 活力ある農林業の推進と商工業の振興

活力ある農林業の推進と商工業の振興及び、域内経済の循環と活性化を図るために、既存の活動と取り組み等を支援するとともに、地域を守る新たな経済活動を創出します。



施策・事業

- 農業基盤の維持管理及び農地の有効利用
地域の共同活動に対する補助金や交付金等の有効活用による、農業インフラ整備、維持管理に関わる仕組みの調査研究と集落営農に向けての調査研究を行います。
- 農業者支援
新規農業就労者支援のための調査研究を行います。
- 地元食材を活かした農工商の活性化
地元食材、ジビエ、山菜、キノコ等を活用した地域特産品の調査研究を行い、地元飲食店での活用を推進します。
- 間伐材の有効利用
切り捨てられているカラマツ間伐材の有効利用に向けた調査研究を行います。
- 支え合いの経済活動
売り手と買い手が直接つながる、地域や生活を守る新たな仕組み「小さな経済活動」の構築をめざします。

4 農村観光の創出

農村の魅力を観光資源として十分に活用できる観光形態の創出と、既存の取り組みへの協力体制の構築をめざします。



施策・事業

- 武石公園エリアの活用
武石公園を一周するウォーキングコースの活用など、地域内外に武石公園の魅力や情報を発信します。
- 名所・旧跡の案内
名所・旧跡・トイレなどの施設が、観光客や来訪者に分かりやすい環境づくりを行います。
- 体験型観光
田舎暮らしや農林業体験、グリーンツーリズム等体験型の観光の調査研究及び活動支援を行います。

第3章 計画の実現に向けて

まちづくりは、行政と自治会・住民・団体・事業者がそれぞれ連携し合って進めていくものです。以前は、行政が総合計画などによりまちづくり計画を進めてきましたが、これからはどちらが提案する側でもされる側でもなく、お互いに提案し合い考え合って、それぞれが受身でなく、協働によってまちづくりを進めていくことが私たちの役割となっています。

私たち「住みよい武石をつくる会」は、地域住民や団体・事業者などによって構成されており、さらにNPOや各種団体なども積極的にまちづくりに加わっていくことが求められています。

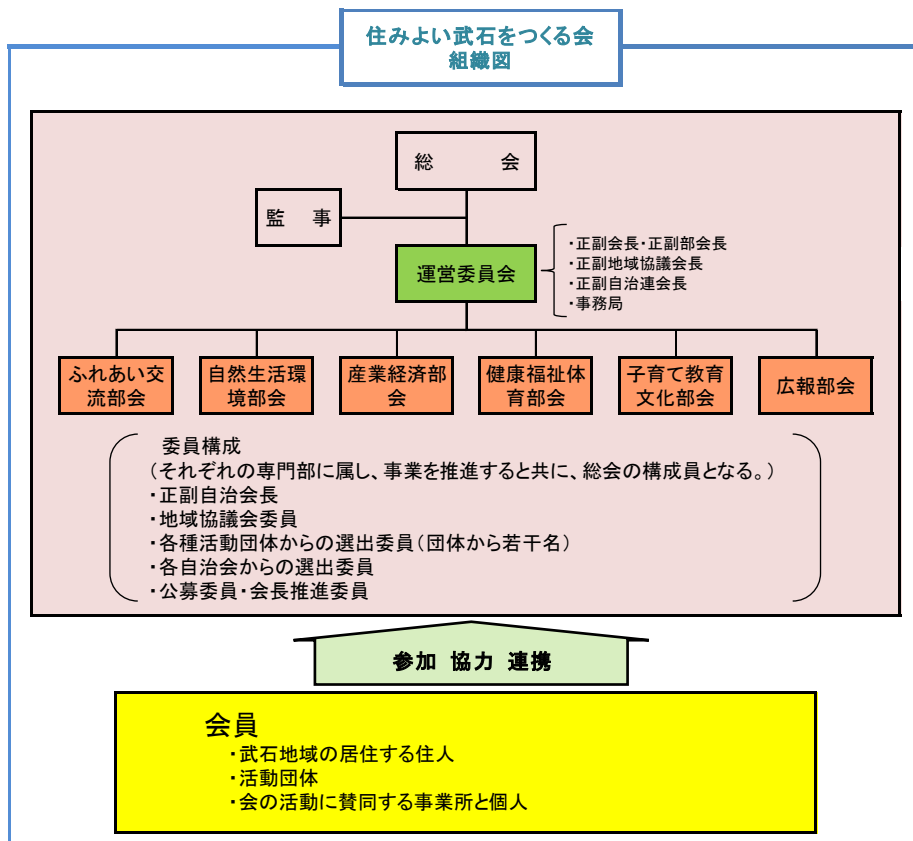
このまちづくり計画は、こうした多くの地域住民の参画を得て意見を集約させながら自らの目標として策定しましたので、計画の実現に向けても自分たちで確実に行動し繋いで次へ引き継いでいく必要があります。

1 事業期間

2019年度を初年度として、概ね10年間（2028年度）の地域づくりの内容を掲載しPLAN（計画づくり）→DO（実行）→CHECK（点検・評価）→ACTION（修正・改善）という計画実現のサイクルを毎年継続させ、必要に応じ見直しを行いより精度の高いまちづくりを進めていきます。

2 事業推進体制

次の組織体制により事業を推進していきます。



私たちのまちづくりには、終わりはなく、際限なく続いていくものです。
ともに手を携えて、「恵まれた自然と人の営みを大切にして、一人ひとりが輝く武石」の実現をめざして頑張っていきましょう。



資料編

(1) 地域にある主な施設等

ア 警察

上田警察署武石駐在所

イ 消防・防災

依田窪南部消防署（長和町）・上田市消防団武石東部分団・武石西部分団
自主防災組織 18 組織（自治会単位）

ウ 学校等

武石保育園・武石小学校・上田市長和町中学校組合立 依田窪南部中学校

エ 市関連施設

上田市武石地域自治センター・武石公民館・武石地域教育事務所・武石診療所
武石健康センター

オ 福祉施設

武石老人福祉センター寿楽荘・武石デイサービスセンター「やすらぎ」
依田窪特別養護老人ホーム 「ともしび」（依田窪福祉会）
グループホーム沖（NPOライフケア信州）・有料老人ホーム遊子舎（NPOライフケア信州）
就労センター武石「ふれあい」（樫の木福祉会）

カ 観光施設

うつくしの湯（日帰り温泉）・岳の湯温泉「雲溪荘」（温泉宿泊施設）・巢栗観光センター
武石番所ヶ原スキー場

キ 体育施設

武石体育館・武石総合グラウンド・武石テニスコート・武石ゲートボール場・武石屋内ゲート
ボール場・築地原トレーニングセンター・武石森林公園マレットゴルフ場

ク 文化・教育施設

武石ともしび博物館・武石児童館「ふれんず」・美ヶ原高原美術館（道の駅併設）

ケ 金融機関等

信州うえだ農業協同組合武石支所・上田信用金庫依田窪支店・武石郵便局

コ 上下水道等

上田市上水道、上田市農業集落排水下水道

サ 公共交通等

千曲バス（武石線 1 路線）・デマンド交通

(2) 地域の行事・催事・活動・祭り

ア 武石御柱祭、おねり行列（7 年ごと）

イ 一心様の火渡り（4 月第 3 日曜日）

ウ 余里の花桃（4 月下旬～5 月上旬）

エ 武石公園の山つつじ（5 月上旬～下旬）

オ 美ヶ原レンゲツツジ（6 月下旬～7 月上旬）

カ 唐沢のあじさい（7 月中旬～8 月上旬）

キ 夏祭り（8 月 12 日）

ク ともしびの里駅伝大会（10 月下旬）

ケ 武石地域文化祭（11 月上旬）



(3) 地域資源（文化・歴史等）

※上田市指定文化財

ア 植物

※大布施のヒガンザクラ・※駒形神社のトチの木・※信廣寺のシダレザクラ

※大宮鳥居のサワラの木

下村家のクロマツ・信廣寺のカヤの木・唐沢フクジュソウ群生地



イ 鉱物

※緑簾石（やきもち石）・※武石（ぶせき）

ウ 建築

※大宮諏訪社の日吉社殿・※妙見寺の鳴竜

下村家の家屋



エ 彫刻

※小沢根の木造聖観音立像・※鳥屋の木造弥勒菩薩坐像

正念寺の十王像

オ 石造物

※鳥屋の双体道祖神・※妙見寺の掌善掌悪の碑・※正念寺の石幢

小寺尾の踊念佛供養塔・沖の牛石・沖の五輪塔風空輪

カ 史跡・名所

※中山城跡

江戸窄遺跡・鳥屋城跡・飛魚（依田川）・巢栗溪谷（武石川）・焼山滝（焼山沢川）

キ 考古資料

※巴形銅器

石器・土器



ク 民俗

※子檀嶺神社の御柱祭行事・※一心様祭典行事

宮下獅子面・ともしび博物館の灯火器

ケ 文書資料

※小山真夫調査野帳

コ 動物

オコジョ・モモンガ



(4) 地域の組織・団体

ア 上田市武石地域自治会連合会

イ 武石地域協議会

ウ 子育て団体

非営利活動法人武石子育て支援を考える会・武石保育園保護者会・武石小学校PTA
依田窪南部中学校PTA・青少年健全育成協議会

エ 防災・防犯

上田市消防団武石東部分団・武石西部分団・上田市防災支援協会武石支部
依田窪交通安全協会武石支部・依田窪防犯協会連合会・上田市武石地区赤十字奉仕団

オ 農林業団体

エコーズフェス武石・農業生産法人信州せいしゅん村・武石農友会
武石地区営農活性化委員会・せんぜい畑の会・武石生活改善グループ協議会
JA信州うえだ・上小獵友会武石支部・信州上小森林組合依田窪支所

カ まちづくり団体

武石郷土史研究会・余里花咲じいさんクラブ・美ヶ原飛龍太鼓保存会・風土つなぎ隊
武石の自然保全会議・武石・未来・つながるプロジェクト・七ヶ公友会・武石山岳会

キ 観光商工業団体

上田市商工会武石支部・武石工業振興会・武石建設業協会・武石観光協会

ク 健康福祉団体

社会福祉法人上田市社会福祉協議会・上田市武石地域包括支援センター・武石高齢者クラブ
民生児童委員協議会・上田市健康管理推進委員会武石ブロック
社会福祉法人依田窪福祉会・社会福祉法人樅の木福祉会
更生保護女性会・NPO法人ライフケア信州

ケ スポーツ団体

(財)上田市体育協会武石スポーツ協会・スポーツ推進委員会・武石スポーツ少年団